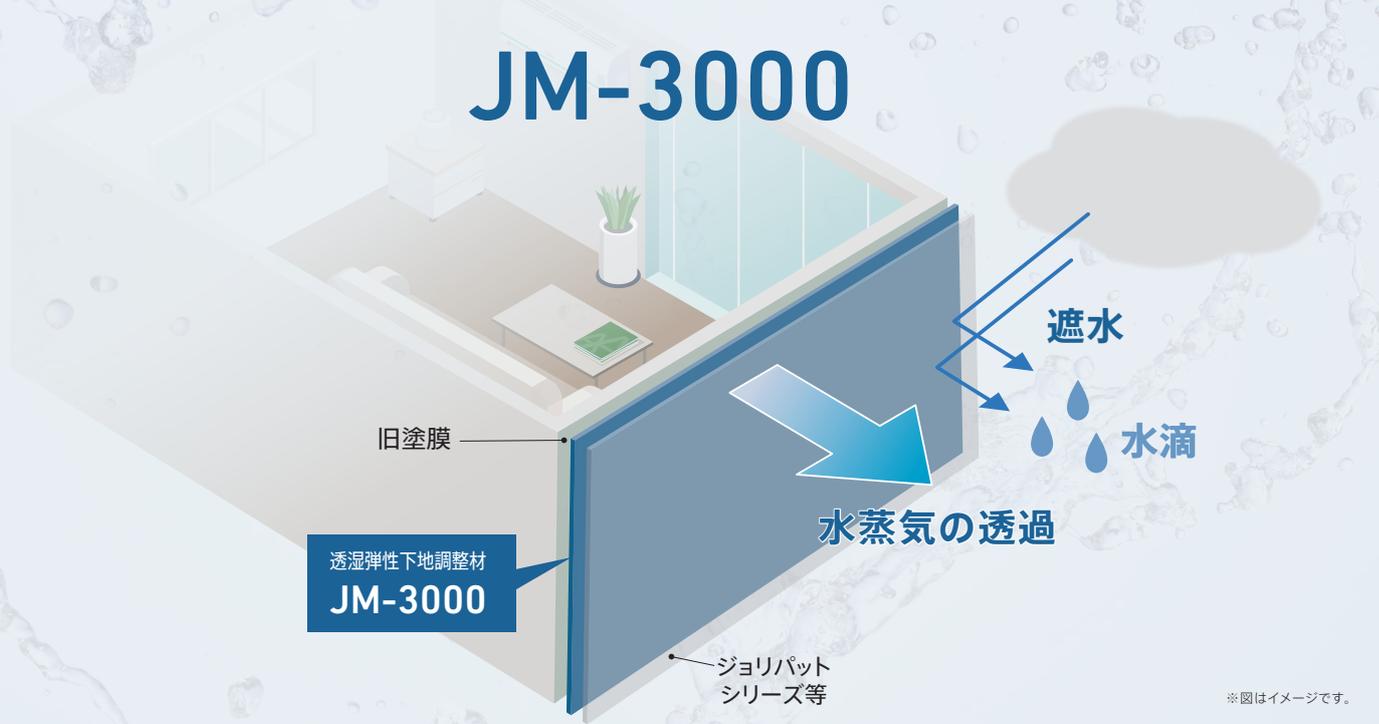


外壁の下地調整・旧塗膜の改修に。

# 透湿弾性下地調整材

## JM-3000



※図はイメージです。

### 環境対応

環境に優しい  
一液水系の速乾性  
下地調整材  
(ローラー施工)

### 透湿性

優れた透湿性  
(蒸気透過性)  
▼  
耐久性、凍害防止、  
躯体劣化の抑制

### 遮水性

遮水性能による  
躯体保護性  
▼  
クラック部からの  
漏水防止、凍害防止

### 下地追従性

優れた下地追従性で  
クラック発生リスクを低減  
▼  
躯体劣化の抑制、  
美観維持

### 下地適応性

さまざまな下地に  
対する密着性を確保

※凍害防止、漏水防止、クラック防止などは期待できる性能であり、保証するものではありません。

### 特長 1

汎用の微弾性フィラーと比べて施工間隔時間を短縮

[ JM-3000施工間隔 ]

| 施工  | 塗布量                  | 乾燥時間  |
|-----|----------------------|-------|
| 1回目 | 0.4kg/m <sup>2</sup> | 3時間   |
| 2回目 | 0.4kg/m <sup>2</sup> | 3時間以上 |

[ 汎用微弾性フィラー施工間隔 ]

| 施工  | 塗布量                  | 乾燥時間  |
|-----|----------------------|-------|
| 1回目 | 0.4kg/m <sup>2</sup> | 5時間   |
| 2回目 | 0.4kg/m <sup>2</sup> | 5時間以上 |

※間隔時間・所要量は標準的なものです。施工方法・器具・被塗物の形状・素地の状態・施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

### 特長 2

最高峰のナノテクノロジー配合設計により優れた透湿性(蒸気透過性)と遮水性を兼ね備えた下地調整材

[ 透湿性(蒸気透過性) ]

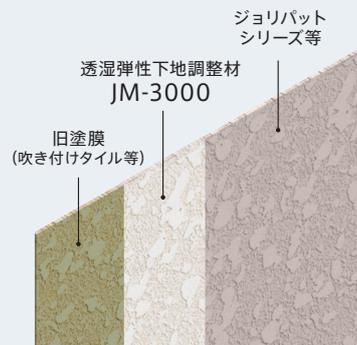
| 下地調整材     | 透湿量(g/日) |
|-----------|----------|
| JM-3000   | 0.88     |
| 汎用微弾性フィラー | 0.52     |

[ 透水性B法(JIS A 6909) ]

| 下地調整材     | 透水量(ml) |
|-----------|---------|
| JM-3000   | 0.1     |
| 汎用微弾性フィラー | 0.2     |

※膨れの防止、漏水の防止を保証するものではありません。下地の状況や仕上げ材の種類により変わります。

JIS A 6909規格値：0.5ml 以下



### 特長 3

## 弾性と強靱性を有する特殊アクリル樹脂による優れた塗膜物性

[性能試験値表] JIS A 6909 (JIS A 6909:2021 建築仕上塗材 複層仕上塗材 防水形複層塗材 E) と同じ試験方法に準じた当社試験結果を示します。

| 試験項目                     | 試験結果 (JM-3000)                         | 規格値                                    |
|--------------------------|--|--|
| 低温安定性(主材)                | 塊がなく、組成物の分離または凝集がない。                   | 塊がなく、組成物の分離または凝集がない。                   |
| 初期乾燥によるひび割れ抵抗性           | ひび割れがない。                               | ひび割れがない。                               |
| 付着強さ(N/mm <sup>2</sup> ) | 標準状態                                   | 0.9                                    |
|                          | 浸水後                                    | 0.8                                    |
| 温冷繰返し                    | 試験体表面に、ひび割れ、剥がれおよび膨れがなく、かつ、著しい光沢低下がない。 | 試験体表面に、ひび割れ、剥がれおよび膨れがなく、かつ、著しい光沢低下がない。 |
| 透水性B法(ml)                | 0.1                                    | 0.5以下                                  |
| 耐衝撃性                     | ひび割れ、剥がれおよび著しい変形がない。                   | ひび割れ、剥がれおよび著しい変形がない。                   |
| 耐候性A法                    | ひび割れ、剥がれがなく、変色の程度はグレースケール5号。           | ひび割れ、剥がれがなく、変色の程度はグレースケール3号以上。         |
| 伸び                       | 標準時                                    | 260                                    |
|                          | -10℃                                   | 31                                     |
|                          | 浸水時                                    | 210                                    |
|                          | 加熱時                                    | 170                                    |
| 伸び時の劣化                   | 剥離、反りおよびねじれがなく、主材に破断及びひび割れがない。         | 剥離、反りおよびねじれがなく、主材に破断及びひび割れがない。         |

規格値は満たしていますが、JISの認定を取得した製品ではございません。上記値は測定値であり、保証値ではありません。

### [伸び性能試験]



標準時



伸び率200%以上

### 特長 4

## 優れた下地適応性

### [旧塗膜]

| 下地材(旧塗膜)         | 可否 | 下地材(旧塗膜)       | 可否 |
|------------------|----|----------------|----|
| 吹き付けタイル          | ○  | アクリルシリコン系塗材    | ○  |
| 弾性タイル            | ○  | 陶磁器タイル         | ×  |
| 弾性リシン            | ○  | シーリング(ウレタン系)   | ○  |
| 汎用水系塗料(JC-870など) | ○  | シーリング(変性シリコン系) | ○  |
| アクリル系塗材          | ○  | シーリング(シリコン系)   | ×  |

※新設下地の場合は下地に適したシーラー(JS-800等)を塗布してください。

### [適応上塗り材]

| 上塗り材          | 可否 | 上塗り材    | 可否 | 上塗り材           | 可否 |
|---------------|----|---------|----|----------------|----|
| JP-100        | ○  | JWC-55  | ○  | JC-850         | ×  |
| JQ-500        | ○  | JWC-70X | ○  | JCU-H1, H2, H3 | ×  |
| JQ-650        | ○  | JQ-800  | ○  | JCS-H1, H2, H3 | ×  |
| JQ-700        | ○  | JQ-810  | ○  | JCF-H1, H2, H3 | ×  |
| JQ-620        | ○  | JQ-820  | ○  | JCU-D1, D2, D3 | ○  |
| JM-660/JQ-300 | ○  | JC-870  | ×  | JCS-D1, D2, D3 | ○  |
| JWC-25        | ○  | JC-860  | ×  | JCF-D1, D2, D3 | ○  |

※JM-3000の柔らかさに追従できず割れが生じるため、汎用の塗料は塗装しないでください。

## 標準施工仕様

| 工程    | 材料名   | 塗装器具    | 水希釈率(%) | 所要量(kg/m <sup>2</sup> ) | 塗回数 | 工程間隔  |
|-------|---|---------|---------|-------------------------|-----|-------|
| 下地調整※ | JM-3000   | ウールローラー | 0(無希釈)  | 0.8(2回塗り合計)             | 2   | 3時間以上 |
| 下地調査  | ●ほこり、汚れを除去してください。<br>●下地調査に基づいて劣化した旧塗膜がある場合、高圧洗浄により活膜以外は完全に除去し、段差修正後パターン調整を行ってください。 |         |         |                         |     |       |
| 主材塗り  | 各種塗材の施工の手引きに従って施工してください。  |         |         |                         |     |       |

※JM-3000は使用前にハンドミキサーで攪拌を行い、無希釈で必ず2回塗りを行ってください。

※下地の状況によりシーラー(JS-800等)を塗布してください。

※新設下地の場合は下地に適したシーラー(JS-800等)を塗布してください。

## 荷姿 ▶ 20kg/缶

## 共通項目

- 本カタログに記載されている製品の使用、取り扱い、保管については、必ず製品説明書および安全データシート(SDS)も合わせてお読みください。
- 記載内容は当社試験結果によるもので十分信頼し得るものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を必ずしも保証したものではありません。また、使用目的、使用条件により結果が相違する場合がありますので、予めご需要家各位でご確認いただくことを推奨します。

●商品のお問い合わせはアイカ問合せセンターまでお願いいたします。

●アイカカタログセンター

☎ 0120-525-100 TEL 052-409-8313 受付時間:9時~17時

TEL 052-409-1471

※問合せセンター・カタログセンターを含む全営業店所の営業日は月~金曜日、休業日は土曜日・日曜日・祝日です。カタログ・サンプル当日出荷のホームページ受付締め時間は14:00です。

※フリーダイヤルは、携帯電話・一部のIP電話等からはご利用になれない場合がございます。

ISO 9001 認証取得 JQA-2019  
ISO 14001 認証取得 JQA-EM0513  
ISO 45001 認証取得 JQA-OH0017



カタログ、サンプル帳、現物サンプルのご請求はホームページにてお受けしております。

<https://www.aica.co.jp/>



**AICA** アイカ工業株式会社

- 改良のため、予告なく仕様および価格を変更することがありますのでご了承ください。確認はアイカ問合せセンターまでお願いいたします。
- 荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。
- また、ご使用前に製品に異常がないかもご確認ください。後日に発見された場合は、責を負いかねます。
- 印刷物につき、商品写真と実物とは相違することがあります。
- このカタログに掲載されている設計価格は、消費税抜きの価格です。
- ©アイカ工業株式会社 本書に収録したものの一部または全部の無断複製・転載を禁じます。

**D415A** 25.10.5S.SR